

その消毒法は大丈夫？！



ノロウイルスに そなえましょう



冬場に多いノロウイルスによる食中毒や感染症ですが、その発生は年中あります。ノロウイルスにはアルコール消毒はあまり効果がありません。次亜塩素酸ナトリウム（漂白剤）を効果的に使って、感染力の強いノロウイルスにそなえましょう。

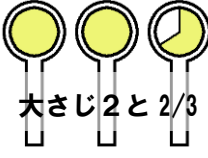
チェックポイント①

「塩素液」はどの程度うすめたらよい？



消毒には業務用の次亜塩素酸ナトリウム、または家庭用の塩素系漂白剤を水で薄めたものを使います。ふだんの消毒には200ppm(0.02%)、嘔吐物など汚染がひどいところには1000ppm(0.1%)の濃度に調整します。市販の家庭用漂白剤は濃度が約5%なので、次のとおり薄めてください。

- 製品ごとに濃度が異なるので、表示をよく確認しましょう。

	200ppm	1000ppm
用途	ふだんの消毒 調理器具や手すり・ドアノブ等の 消毒や拭き取り	汚染がひどいところ 嘔吐物や糞便の処理
薄め方	5%の原液8ml + 水2ℓ  小さじ2弱	5%の原液40ml + 水2ℓ  大さじ2と2/3

- 次亜塩素酸は金属を腐食する性質があるので、使用後はよくすすいだり、水拭きしたりしましょう。
- 金属製の計量器具はさびてしまうので、プラスチック製のものを専用に用意するとよいでしょう。

チェックポイント②

嘔吐物処理セットを前もって準備しましょう



ノロウイルスによる嘔吐は、何の前触れもなく起こることがあります。その時にあわてないように、嘔吐物処理に必要なものを1ヶ所にまとめておきましょう。



- 処理時、塩素液をスプレータイプの容器で噴霧しないでください。
- 「次亜塩素酸水」「除菌水」などと称して販売されている商品は、次亜塩素酸の濃度が低いため、嘔吐物処理には使用しないでください。処理が不十分になるおそれがあります。
- 処理方法の詳細については、厚生労働省のホームページを参考にしてください。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/03.html#link01-01>

スプレー噴霧は
汚染を広げてしまう



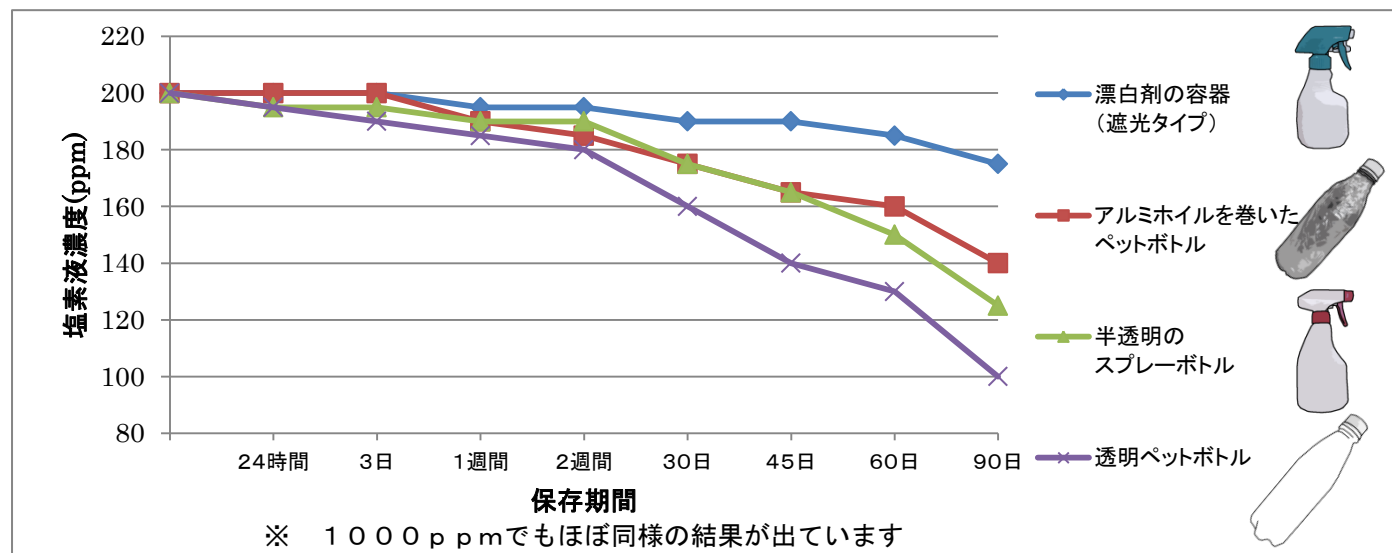
チェックポイント③

「塩素液」の保管方法は？交換のタイミングは？

次亜塩素酸は光や高温で分解してしまいます。保管場所や容器を工夫し、適時交換しましょう。

徹底比較！どの容器がベスト？

200ppmに薄めた塩素液を色々なタイプの容器に入れて、直射日光の当たらない室内で保管した場合、濃度がどう下がるか検証してみました。



結論

	遮光性	交換の目安
漂白剤の容器 (遮光タイプ)	◎ 保存に最適！	1ヶ月※1
アルミホイルを巻いた ペットボトル	○ 濃度低下を抑えます	2週間
半透明の スプレー容器	△ 透明よりマシ	
透明ペットボトル	✕	

※1 3ヶ月はもちますが、「1ヶ月で交換」が管理しやすいでしょう。

※2 透明ペットボトルを窓際に置くと、24時間で140ppmまで低下しました。

- 直射日光は避けましょう。窓際に置くと一日もちません。※2



- 子供の手の届かない場所に保管し、中身がわかるよう表示しておきましょう。
- 使用期限を明記して、忘れずに交換しましょう。



チェックポイント④

予防の基本は、正しい手洗い！

ノロウイルスにはアルコールがあまり効果がないため、手をまんべんなくこすり洗いすることが重要です。北九州市オリジナル手洗い歌「きたきゆう手あらいうた」にあわせて手を洗うと、正しい手洗いができます。楽しく手を洗いながら、モリモリ元気になりましょう。

下記のホームページで、歌の試聴や歌詞カードのダウンロードができます。

https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/file_0327.html

きたきゆう手あらいうた

検索



【問い合わせ】

北九州市保健所 東部生活衛生課 TEL 522-8728
西部生活衛生課 TEL 642-1441 (内線 602)